（様式第２号）

事業計画書

「☑」は「チェック」で変換すると出る。

１．申請者の概要

事業者区分	☐ 創業予定者　☐ 個人事業者　☑ 法人
商号又は屋号	（フリガナ）トヨノセンイカブシキカイシャ 豊能繊維株式会社
代表者 職･氏名	（フリガナ）ダイヒョウトリシマリヤク　トヨナカ　ハナコ 代表取締役　豊中　花子
事業所所在地 ※創業予定者は創業予定地	〒　561 -0884 豊中市岡町北１－１－２
連絡先 ※創業予定者は現住所を記入	住　所：〒561 -0884 豊中市岡町北１－１－２ 担当者　職名：　管理部長 （フリガナ）　トヨノ　タロウ 氏名：　豊能　太郎 TEL：０６－６８４５－８００６ FAX：０６－６８５７－０４７４ E-Mail：toyo-cci@ooaana.or.jp
資本金	10,000,000 円

主たる株主とその出資比率

株主名	出資比率（%）	役職
豊能　花子	40	代表取締役
豊能　太郎	25	会長
(株)地域資源	25	
その他個人４名	10	

従業員数	10 人　※常時雇用するパート、アルバイトを含む。
業　種	E　製造業　※日本標準産業分類の大分類を記入。
事業内容	公募要領１２ページ参照のこと。 昭和５４年に創業し、現在まで衣料・その他の繊維製品製造業として、地域の発展に貢献してきました。

２．事業の内容

(1) 事業の名称 （40字以内）	豊能地域の〇〇を素材とした新商品△△△の開発及び販路開拓
(2) 活用する地域資源	豊能地域で長らく生産されている「〇〇」
(3) 事業の概要 ※400字程度で簡潔に記載してください。 ※どのような地域資源を活用したビジネスかを必ず記載してください。	豊能地域の〇〇は、地域特産品として有名です。この事業では、この〇〇を当社の〇〇技術を応用することで、繊維素材として活用します。この新繊維には、殺菌効果が見込まれ、これを使った新商品△△△を開発します。 新商品△△△は、殺菌効果を持った新素材であり、高齢者や要介護者が不自由を感じている□□□などで利用すると、利便性が飛躍的に向上します。 機能性を追及するだけでなく、豊能地域在住のファッションデザイナー□□××氏と協力し、機能性はもちろんおしゃれな新商品として、大阪府内をはじめ、全国の高齢者や要介護者をターゲットに販売します。 地域特産品〇〇を繊維素材として活用した例はなく、全国初の新素材として販路を開拓していくことで、豊能地域の〇〇の知名度を全国に知らしめるとともに、豊能地域内で新たな雇用を生み出すなどして地域を活性化させ、地域の発展に貢献していきます。 これで、378 文字。400 字前後でまとめる。

(4) 事業の目的や必要性、期待される効果

〇〇には殺菌作用があることは古くから知られていますが、これを有効に活用する方法がありませんでした。そこで、当社の〇〇技術を活用して、殺菌作用もつ新素材に加工し、これを活用した新商品△△△を開発することを目的とします。

豊能地域の特産品である〇〇は、現状ではその一部が利用されているだけで、多くは未利用物として廃棄されています。かねてよりこの有効利用が叫ばれ、様々なチャレンジがなされたようですが、未だ有効な活用法が見出されてはいないと聞いております。

この事業により〇〇の未利用部分を繊維の原料として利用できれば、地域資源である〇〇の価値が一層高まり、〇〇の生産量が増大することで、地域の活性化が期待されます。

「目的や必要性」、「期待される効果」の両方を盛り込む。「目的は〇〇。必要性は〇〇、期待される効果は〇〇」と明示すると、何を書くべきかが意識しやすい。「ですます」体でも「である」体でもよいが、どちらかに統一する。以下の項目も同様。

(5) 事業にチャレンジする経緯、動機、アピールポイント

豊能地域の特産品である〇〇の未利用部分の有効活用が課題となっていることを知り、当社の技術を活用したら繊維素材として活用できないかと考え、数年前より研究を続けてきました。昨年、〇〇大学の〇〇教授の指導により、〇〇からの繊維化に成功すると共に、この新素材が殺菌作用を持つことがわかりました。そこで、当社の〇〇技術と地域資源である〇〇を使った新商品△△△の開発を計画していたところ、おおさか地域産業資源活用サポート事業助成金の公募があることを知り応募しました。

当社が長年培ってきた技術力と豊富な人材には自信があり、地域資源〇〇の未利用部分を新たな分野で活用する新商品△△△は、これまでにない新素材として、〇〇に新たな活用の道を開き、その価値を高めるものと確信しています。

チャレンジする経緯・動機は、比較的書きやすいので、長文になりがち。だらだら書かないように注意し、簡潔にまとめる。創業予定者の方は、過去に行っていた事業又は現在行っている他の事業、その他の過去の経験を記載の上、その経験を今後どのようにこの事業へ活かしていくのかを記入する。専門用語には注釈を加えるなどしてわかりやすく記入する。以下も同様。

(6) 開発する商品、サービスについての説明

① 新規性（特徴、競合・類似する商品・サービスとの違い、優位性）について

〇〇の殺菌作用を活用した繊維は、これまで開発されていません。また、他の繊維を活用した商品として、▲▲▲や□□□などがありますが、今回開発する新商品△△△は、繊維そのものが殺菌作用を持ち、その効果の持続性も高いため、従来商品に比べて優位性があります。また、特殊なデザインを当社保有の縫製技術で実現するため、今までにないスタイルの商品となり、競争優位性があります。

② 想定する価格とその設定根拠について

新商品△△△は、小サイズ１ケース（20枚）2,000円、中サイズ１ケース（30枚）2,800円、大サイズ１ケース（50枚）3,500円の３タイプでの展開とします。㈱△△社製の商品でと類似の使用方法の〇〇は1ケース（30枚）2,500円が標準価格となっており、新商品△△△のもつ殺菌作用とデザイン性を付加価値として価格設定しています。

③ 新商品・新サービスの提供方法について

販路は、従来の販路を活用した卸とインターネット販売の両方で開拓します。
店舗販売においては、地元の道の駅等からスタートし、徐々に取り扱い店舗を増やしていきます。また、インターネット販売では、ネットからの注文できるシステムを導入し、高齢者が読者層である雑誌への広告出稿等によりホームページへのアクセス数を増加させることで、売上の増大に努めます

従来の商品・製品・サービスと比較してどのような点に新規性や革新性があり、競争優位性が確保できるかについて記入する。「今までにない商品」という表現は、「市場調査が不十分」あるいは「市場性がない＝売れない」と判断される場合がある。競合についてはよく調査すること。
誰に（顧客・市場）、何を（製品・商品・サービスの内容）、どのように（価格・販路）提供して、売上や収益をあげるつもりか、できるだけ具体的に記入する。

(7) 市場性・成長性の説明

① メインターゲットとなる顧客層とその特性、ターゲットとする理由

新商品△△△は、大阪府内をはじめ全国の高齢者や要介護者をターゲットにします。

高齢者や要介護者が困っている〇〇の状況において、〇〇の殺菌作用をもつ新素材を効果的に活用できるからです。また、機能性だけでなく、ファッションデザイナー□□××氏のデザイン力と当社の縫製技術により今までにない斬新なスタイル（意匠登録予定）に仕上げることが可能であり、従来の素材商品と比較しても、機能性とデザインの面で競争優位性があります。

② 市場規模と今後の動向（成長性）

高齢化の進展に伴い、ターゲットとする高齢者・要介護者は、増加していきます。また、将来的には、日本だけでなく、同様に高齢化が進む中国を中心としたアジア諸国への販路開拓も見込めます。

メインターゲットの属性（年齢、性別、エリア、所得層 etc）とその特性を明確にするとともに、どのような根拠があって、またはどのような理由でそのターゲットに販売できるのか、できるだけ具体的に記入する。
市場規模（ターゲット人口、市場売上高等）や成長率（年〇%増等）については、数値や根拠を盛り込むことができれば、説得力が増す。しっかり調査して盛り込むとよい。

（8）地域活性化への波及効果

　地域資源である〇〇の未利用部分を繊維として活用した新商品△△△を開発し、販路を拡大していくことで、〇〇の新たな有効活用の道を開き、〇〇の価値を高め、豊能地域の活性化及び地域内における雇用の促進が期待されます。
また、デザインや情報システムの構築において、豊能地域の優秀なデザイナーやソフトハウスと連携することで、地域の人的資源の活用を促し、地域のデザイン力やシステム開発力の向上に寄与します。

この事業を行うことの豊能地域にとっての意義、豊能地域のイメージ向上への貢献、豊能地域内での連携、豊能地域の中小企業への波及効果等について記入する。「自社が儲かる」ことは当然であるが、税金を使う助成金なので、「公益」的な効果について、必ず記入しておくこと。

(9) 実現可能性

① 事業の実施体制

本事業は、社長直轄のプロジェクトとし、管理部長を事業専従者として、早期に新商品の開発及び販路の開拓ができるよう全社をあげて取り組みます。

〇〇の殺菌作用をもつ新素材については、かねてより指導を受けている〇〇大学の〇〇教授にも参画いただき、機能性（殺菌力）の客観的なデータを整備していきます。

また、新商品のデザインは、豊能地域在住のファッションデザイナー□□××氏に委託し、デザイン面での特徴の強化をはかります。

ネット販売システムは、地域のシステム会社に外部委託すると共に、運用管理責任者を社内で育成します。

② 自社が保有する技術・ノウハウ、設備、人材等

当社の縫製技術については特許取得済みです（公開番号：特開 2018-〇〇〇△△□（公開日：２０１９年２月 10 日））。設備については、一部特殊な折込作業が発生するため、試作機を作成予定。人材については、創業時からのメンバーである工場長　能勢　六三郎のもと、30 代・20 代のスタッフを育成しているところです。

③ 資金調達について

事業資金は、自己資金及び一部を借入金で充当します。借り入れについては、当社のメインバンクである〇〇信用金庫〇〇支店より必要額の融資の内諾を得ています。

■資金調達の内訳

	資金調達額（円）	資金の調達先	備考
自己資金	2,000,000		
借 入 金	3,000,000	〇〇信用金庫〇〇支店	
そ の 他	0		
合 計 額	Ⓐ 5,000,000	Ⓐ	

合計額Ⓐは、「５．助成対象経費の内訳」の合計額Ⓑと一致させてください。

社内では、誰をリーダーとして、どのような体制で取り組むのか、具体的に記入する。
連携先企業、研究機関、支援者などの社外協力者がある場合には、その名称とどのような役割を担当してもらうのか記入する。
事業で使う資金を、どの手段でどれだけ調達するのか、記入する。

（10）事業実施にあたって自ら認識する課題と対応策

① 許認可等の法的規制について

なし

② 産業財産権等について

類似製品との差別化にデザイン性が寄与しており、これを保護するため意匠権について登録予定である。また、他者の意匠権・商標権を侵害しないよう調査を十分に行う。

③ その他自ら認識する課題について

工場長が高齢のため技術移転を急ぐ必要がある。また、IT について一般的な知識を持っている者しかいないため、外部のモールを使うにせよ自社サイトを使うにせよ、インターネット販売に関連して必要な知識・技能を習得させるか、外部から新たに人材採用する必要がある。

許認可が必要な場合、どの官庁のどの許認可が必要で、それへの対応状況（取得済み、申請中（〇年△月頃取得見込）、〇年□月頃申請予定、など）などについて記入する。
産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権、商標権）や、著作権などの知的財産権の保護に関する取り組み等についても記入する。
その他、事業を実施するにあたって自社の現状でネックになっている点についても記入する。

３．助成事業の実施スケジュール

時期（年･月）	実施内容	実施にあたり支出する経費（税抜）
令和元年10月	社内〇〇〇〇チームの立ち上げ	円
令和元年11月	専門家による新商品についてのアドバイス マーケティングを行い、商品のニーズの把握 新商品のデザイン契約 殺菌性能試験	162,000 円 226,800 円 324,000 円 388,800 円
令和元年12月	機械装置の購入 原材料の購入 試作品の完成	648,000 円 97,200 円
令和２年1月	広告媒体を使っての新商品ＰＲ ① 新商品の生産開始 特設ホームページの解説 意匠・商標登録	54,000 円 648,000 円 97,200 円
令和２年2月	営業社員の増員 広告媒体を使っての新商品ＰＲ ② 大阪府内の展示会に出展する	 162,000 円 648,000 円
令和２年3月	新たに機械装置を導入し、量産体制を確立	
令和２年4月	ネットでの受注を可能にするシステムの構築	
令和２年5月	東京での展示会に出展する	
令和２年6月	大阪での展示会に出展する	
令和２年7月	専門家による新商品の次期モデルについてのアドバイス コスト削減にむけての組織体制見直し	
令和２年8月	次期モデルの試作品完成	
令和２年9月	試作品のモニタリング調査開始	

※　「実施にあたり支出する経費」欄は、事業の実施に伴って支出する助成対象経費を別紙【助成対象経費明細】の件名に該当する助成対象経費の額を記入してください。

４．助成期間終了後の事業展開（収支予測）　（千円）

	１年後	２年後	３年後
① 売上高	599	5,990	15,100
② 売上原価	179	1,797	4,530
③ 売上総利益　①－②	420	4,193	10,570
④ 販売費及び一般管理費	5,000	6,000	7,500
⑤ 営業利益　③－④	▲4,580	▲1,807	3,070
⑥ 売上高内訳	（小）100 ケース （中）80 ケース （大）50 ケース	（小）1,000 ケース （中）800 ケース （大）500 ケース	（小）3,000 ケース （中）2,000 ケース （大）1,000 ケース

※　グループで実施する場合は、合算した数値を記載してください。
※　⑥)売上高内訳には、販売する商品･サービス価格や販売先等の具体的な内容を記載してください。

５．助成対象経費の内訳

項目	助成事業に要する経費（税込）（円）	助成対象経費（税抜）（円）	助成金申請額（円）
①調査研究費	226,800	210,000	140,000
②専門家謝金・旅費	162,000	150,000	100,000
③原材料費	97,200	90,000	60,000
④機械装置等	648,000	600,000	400,000
⑤外注加工費、試作費、試験検査費、システム開発費	388,800	360,000	240,000
⑥デザイン料、設計費	324,000	300,000	200,000
⑦知的財産権の取得に要する弁理士等の手続き代行費用	97,200	90,000	60,000
⑧展示会等に関する経費	453,600	420,000	280,000
⑨広告宣伝費	216,000	180,000	120,000
⑩ホームページ作成費	648,000	600,000	400,000
助成対象とならない経費	2,160,000		
合計額	Ⓑ　5,400,000	3,000,000	2,000,000
		本事業に係る助成金申請額	2,000 千円(*1)

※　項目①～⑩の額は、別紙【助成対象経費明細】の計❶～❿の額と一致させてください。
※　助成金申請額は、各項目の助成対象経費に助成率(3 分の 2)を乗じ、１円未満を切り捨てた額としてください。また合計欄については、各項目の額を合算した額で、千円未満を切り捨てた額としてください。（上限は 200 万円）(*1)
※　合計額Ⓑは、上記「２．事業の内容（9)実現可能性 ■資金調達の内訳」の合計額Ⓐと一致させてください。
※　消費税額は、申請時の税率（8%）で計算し記入してください。

【別紙】助成対象経費明細

※必要に応じて各表の行の追加、削除を行ってください。

※助成金申請額は、助成対象経費に、助成率(3 分の 2)を乗じ、1 円未満を切り捨てた額としてください。

①調査研究費

件名	目的・内容	内訳	助成事業に要する経費（税込）(円)	助成対象経費（税抜）(円)	助成金申請額(円)
介護施設ニーズ調査	新製品△△の介護施設での可能性の調査	調査・報告まで一式	226,800	210,000	
		計❶	226,800	210,000	140,000

②専門家謝金・旅費

専門家名	指導内容	単価・回数旅費等	助成事業に要する経費（税込）(円)	助成対象経費（税抜）(円)	助成金申請額(円)
北摂　三郎	製品開発支援	32,400×3 回	162,000	150,000	
		計❷	162,000	150,000	100,000

③原材料費

品名	用途	数量 単価	助成事業に要する経費（税込）(円)	助成対象経費（税抜）(円)	助成金申請額(円)
○○	未利用部分の繊維への折込	300kg @324 円/kg	97,200	90,000	
		計❸	97,200	90,000	60,000

④機械装置費

品名	用途	数量 単価	助成事業に要する経費（税込）(円)	助成対象経費（税抜）(円)	助成金申請額(円)
折込試作機	特殊折込テスト	1 台 648,000 円	648,000	600,000	
		計❹	648,000	600,000	400,000

⑤外注加工費、試作費、試験検査費、システム開発費

外注等の件名	内容・仕様	内訳	助成事業に要する経費（税込）（円）	助成対象経費（税抜）（円）	助成金申請額（円）
殺菌性能検査	殺菌効果確認	一式	388,800	360,000	
		計❺	388,800	360,000	240,000

⑥デザイン料、設計費

件名	内容・仕様	内訳	助成事業に要する経費（税込）（円）	助成対象経費（税抜）（円）	助成金申請額（円）
○×デザイン	パッケージ等	一式	324,000	300,000	
		計❻	324,000	300,000	200,000

⑦知的財産権の取得に要する弁理士等の手続き代行費用

件名	内容	内訳	助成事業に要する経費（税込）（円）	助成対象経費（税抜）（円）	助成金申請額（円）
□□知財事務所	意匠・商標登録	手数料部分	97,200	90,000	
		計❼	97,200	90,000	60,000

⑧展示会等の会場整備費、会場借料、出展費、アルバイト等の賃金、旅費

展示会等の名称	会場 開催期間	費目 出展料、展示会場装飾費用、什器・備品借上料等	助成事業に要する経費（税込）（円）	助成対象経費（税抜）（円）	助成金申請額（円）
□△展	マイドーム大阪 2/1-2/7	展料、展示会場装飾費用、什器・備品借上料	453,600	420,000	
		計❽	453,600	420,000	280,000

⑨広告宣伝費

名称	内容	内訳	助成事業に要する経費（税込）（円）	助成対象経費（税抜）（円）	助成金申請額（円）
タウン○○	広告掲載	A4　1/16 サイズ	54,000	50,000	
□△ウォーカ	広告掲載	A4　1/8 サイズ	162,000	130,000	
		計❾	216,000	180,000	120,000

⑩ホームページ作成費

名称	内容	内訳	助成事業に要する経費（税込）（円）	助成対象経費（税抜）（円）	助成金申請額（円）
(株)△△	ホームページ制作	特設ページ一式	540,000	500,000	
○○事務所	写真撮影	２日間	108,000	100,000	
		計❿	648,000	600,000	400,000